

平成24年行政事業レビューシート (総務省)

事業名	国際電気通信連合 (ITU) 拠出金	担当部局	情報通信国際戦略局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成12年度～	担当課室	国際政策課	課長 仲矢 徹				
会計区分	一般会計	施策名	V-6 ICT分野における国際戦略の推進					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	総務省設置法第4条第78号	関係する計画、 通知等						
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 程度以内)	我が国から国際電気通信連合 (ITU) 等に対して拠出を行い、セキュリティ・スパム対策などに関するワークショップ等を実施し、また、世界情報社会サミット (WSIS) の行動計画等に掲げられた活動の支援を通じ、情報通信に関する国際政策形成にあたって我が国見解の反映を図る。							
事業概要 (5行程程度以 内。別添可)	国際電気通信連合 (ITU) 等に対する拠出を行い、ITU等における政策活動及び情報社会に向けた取り組みの強化を支援する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予 算 の 状 況	当初予算	55	44	43	44	43	
		補正予算	0	0	-3	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	55	44	40	44	43	
	執行額	55	43	40				
	執行率 (%)	100.0%	97.7%	100.0%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)	
	本事業は、国際機関の政策活動への支援を通じ、規制・政策面での国際協調の推進等を主眼とするものであることから、定量的な成果目標を示すことは困難。	成果実績			—	—	—	—
		達成度	%		—	—	—	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	本事業は、国際機関の政策活動への支援を通じ、規制・政策面での国際協調の推進等を主眼とするものであることから、定量的な活動指標を示すことは困難。	活動実績			—	—	—	—
		(当初見込み)			—	—	—	(—)
単位当たり コスト	(ITUプロジェクト) 38,488千円/1件 (IMSO) 1,311千円/1件	算出根拠	【23年度】 (ITUプロジェクトへの拠出) 432,449米ドル× 89円/米ドル(支出官レート) = 38,487,961円 (IMSOへの支払い) 9,500英ポンド× 138円/英ポンド= 1,311,000円					
平成24・25年度 予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	国際電気通信連合 (ITU) 等 拠出金	43.6	42.7					
	計	44	43					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	ITUの政策活動への支援等を通じ、規制・政策面での国際協調の推進等を主眼とするものであるから、国が主体となって実施する必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	連合の推進している「グローバル・デジタル社会構築に向けた活動」や「情報社会の新たな課題の解決のための活動」等に資することのために充てられている。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	ITU等における政策活動及び情報社会に向けた取り組みの強化等を通じて、当該分野における我が国の貢献拡大及び国益の確保・維持に資するものである。ITUの無線通信部門のアクセシビリティに関するフォーカスグループの活動や電気通信開発部門の「ルールと遠隔地域における電気通信」に関する活動等に充てられている。
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名 ITU分担金(総務省)(H24年度から統合済み。)	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	ITU等における政策活動及び情報社会に向けた取り組みの強化等を通じて、当該分野における我が国の貢献拡大及び国益の確保・維持に資するものである。ITUの規制・政策課題を中心とした分野横断的なプロジェクトの推進や、情報格差など情報通信技術の導入に伴い新たに発生する情報社会の課題の解決等、ITUの活動に役立てられている。なお、平成23年度においては、ITUの無線通信部門のアクセシビリティに関するフォーカスグループの活動や電気通信開発部門の「ルールと遠隔地域における電気通信」に関する活動等に充てられている。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	今後とも継続して、適切に負担する。		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0130	平成23年行政事業レビュー	0131

※平成23年度実績を記入

総務省
40百万円

※各ブロックの支出額
にて四捨五入の端数
処理を行っているため、
合計が一致しない。

A. 実施プロジェクトの検討
B. 監査業務の経費負担

【拠出金】

A. 国際電気通信連合(ITU)
(38百万円)

【拠出金】

B. 国際衛星移動通信機構IMSO
(1百万円)

プロジェクトの実施

監査業務

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.ITU			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費等	プロジェクトの推進に係る経費	38			
計		38	計		0
B. IMSO			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費等	LRIT※データセンター監査に係る経費 (※長距離船舶識別・動静把握システム)	1			
計		1	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ITU	プロジェクトの推進に係る経費	38	拠出金	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	IMSO	LRITデータセンター監査に係る経費	1	拠出金	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					